

## 情報公開文書

研究の名称	早産児の腎機能解析
整理番号	R
研究機関の名称	富山大学附属病院
研究責任者	富山大学附属病院周産母子センター 吉田 丈俊
研究の概要	<p><b>【研究対象者】</b> 2021年の倫理審査承認日から2026年までの間に当院の周産母子センターに入院し、治療を受けた早産児。</p> <p><b>【研究の目的・意義】</b> 近年の新生児医療の進歩により、新生児期より集中治療を必要とする病的新生児の生命予後は改善しています。近年の早産児の増加に伴いNICU退院後の長期的な予後について注目されており、早産児は学童期から成人期の間、高血圧、2型糖尿病、高脂血症などの生活習慣病に罹患しやすいと報告されています。本研究では、将来の高血圧発症のリスクの高い早産児の腎機能を新生児期に調査して、将来の腎機能低下・高血圧ハイリスク児を同定することを目的とします。</p> <p><b>【研究の方法】</b> 診療録より周産期情報、加療方法、予後因子について情報収集し統計解析を行います。当院NICU/GCUに入院された新生児の尿を非侵襲的にパックで採取して腎障害の指標とされている微量アルブミン等を測定します。また、修正週数40週付近で定期採血に合わせて研究用に0.2mL採血を行い血管内皮増殖因子を測定します。</p> <p><b>【研究期間】</b> 2021年の倫理審査承認日から2026年3月31日</p> <p><b>【研究結果の公表の方法】</b> 周産期または小児科に関連した学会、医学雑誌にて結果を発表します。</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法 (他機関への提供の有無)	研究に用いる情報には以下の項目を含めます。母体情報、母体加療内容、羊水・胎盤情報、臍帯血データ、在胎週数、出生時身体計測値、Apgar score、周産母子センター入院中の加療内容・血液検査・画像検査・生理学検査情報、入院中の身体計測値、合併症、転帰。尿検査はアンジオテンシノーゲン、クレアチニン、podocalyxin, L-FABPと血清VEGFを研究費ですべて測定します。なお、共同研究施設の福井大学への情報提供を行う際は匿名化して個人が同定されないようにして行います。福井大学、富山県立中央病院、県立広島病院、広島市民病院、筑波大学病院、福岡大学病院からは匿名化された検体と情報の提供を受けています。
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	富山大学附属病院 周産母子センター長 吉田丈俊
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者(研究主機関における研究責任者氏名)	富山大学附属病院 周産母子センター 吉田丈俊
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	<p>研究対象者からの除外(試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む)を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。</p> <p>電話 076-434-7313 FAX 076-434-5029 担当者所属・氏名 富山大学周産母子センター 吉田丈俊</p>

